

タチカワレポート

第72期 中間報告

平成29年 1 月 1 日

平成29年 6 月 30 日

 立川ブラインド工業株式会社

証券コード：7989



家庭に、企業に、都市の中に。
 次代の生活文化を創造する、様々な事業を展開。
 インテリア産業の一翼を担う企業として、
 これからも時代を先駆ける活動を展開してまいります。

代表取締役社長 **立川光威**

平素は格別のご支援ご愛顧を賜り誠にありがたく厚く御礼申し上げます。

さて、当社は平成29年6月30日をもって第72期（平成29年1月1日から平成29年6月30日まで）上半期が終了致しましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

当該期間におきましては顧客満足度の高い製品の開発および新製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、増収・増益を計上することができました。

今後とも株主の皆様の一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成29年 9月

CONTENTS 目次

経営者から皆様へ	1
営業の概況	2
セグメント別概況	3
当社グループの事業展開	4
New Products	5
株主様ご優待	6
連結財務諸表（要旨）	7
営業成績の概要	8
会社の概要	9
株式情報	10
株式についてのご案内	

経営の基本方針

当社グループは、ブラインド類・間仕切類を事業の核とするインテリアメーカーとして、また、長年培ってきた歯車技術を活かした機械式立体駐車装置、減速機メーカーとして今日に至っております。

その時代の要請に応え、お客様の信頼を得ることを第一に、国内外の多様な要望に応えることのできる製品の研究開発・生産の充実と高品質なサービスの提供により、生活環境の改善を図り、皆様の期待に応えることを経営の基本方針としております。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続きましたが、海外経済の不確実性の高まりなどから、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、住宅ローン金利の低下や住宅取得支援策などにより、緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、回復ペースは鈍化しており、厳しい環境が続きました。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、顧客満足度の高い製品の開発および新製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、収益改善に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、主力製品である『パズルタワー』に重点を置いた営業を図り、コスト競争力の強化を推進し、収益改善に努め、減速機関連事業においては、保有技術を活かした製品開発に取り組み、特殊製品による成長分野への積極的な提案営業を行い、受注獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は19,755百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益は2,056百万円(前年同期比29.0%増)、経常利益は2,084百万円(前年同期比32.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,310百万円(前年同期比42.4%増)となりました。

業績の見通し

今後の見通しにつきましては、経済政策や金融政策の効果等

を背景に、緩やかな回復に向かうことが期待されますが、当社グループ関連の建設・住宅業界におきましては、個人消費の低迷や住宅着工の見通しなど、先行き不透明感が続くものと予想されます。

このような環境の下、室内外装品関連事業におきましては、お客様の視点に立った新製品開発や営業活動、リフォーム需要の獲得強化、非住宅市場での拡販および収益力の強化に取組むことで既存事業領域を深耕していくとともに、ホテル需要や海外市場等、成長分野への取組みを強化することで、さらなる売上拡大・収益確保に努めてまいります。駐車場装置関連事業におきましては、主力製品「パズルタワー」の物件獲得に注力し、付随する改造・改修、メンテナンス需要を獲得してまいります。減速機関連事業におきましては、当社が強みとする特殊減速機を中心に積極的な提案営業を展開してまいります。

これらを踏まえ、平成29年12月期の通期の連結業績予想につきましては、期初の予想の通り、売上高40,700百万円、営業利益3,200百万円、経常利益3,250百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,950百万円を見込んでおります。

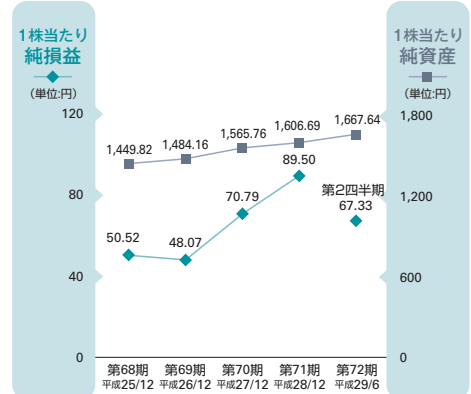
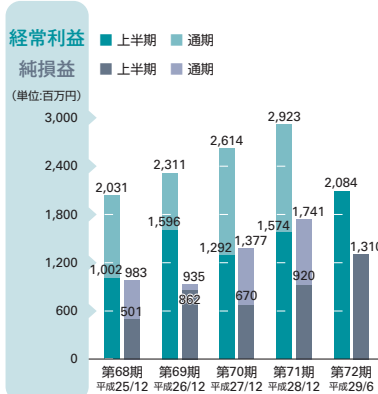
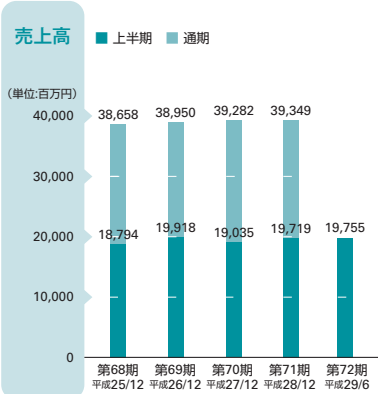
中間配当金について

中間配当につきましては、安定配当を維持する基本方針に沿って、例年通り1株につき5円とさせていただきます。

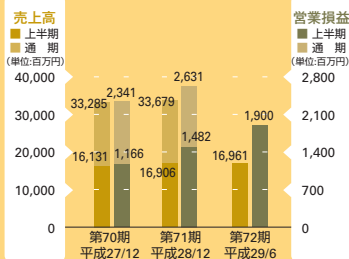
なお、利益配分に関する基本方針に基づく年間配当につきましては、安定配当とともに、業績目標の達成度に応じた配当を予定しております。

Financial Highlights

財務ハイライト



室内 外装品 関連事業



16,961百万円

生地巻き取り部などを隠して直射光を遮る「シールド」を装備したロールスクリーン「ブラルクシールド」に、製品本体と「シールド」の端部を覆う「サイドカバー」を標準装備し、意匠性を向上させたほか、高い遮蔽性を持ち、ワンタッチ操作でブラインドがゆっくりと下降する機能「RDS（減速降下機能）」を搭載したココ型ブラインド「パーフェクトシルキー」など、付加価値の高い製品の開発・販売に注力し、顧客満足度の向上と市場拡大に取り組んでまいりました。

また、窓まわりにおすすめの製品を1冊にまとめた新たな販促物「窓まわりセレクション」による様々なシーンや用途に合わせたトータルコーディネート提案や、5月から

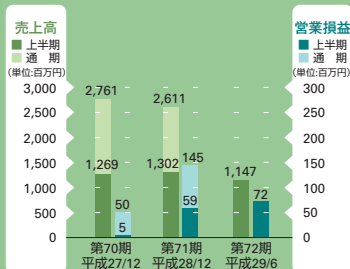
全国24会場において新製品発表会を開催し、新製品等の早期市場浸透に取り組んでまいりました。

以上により、売上高は16,961百万円（前年同期比0.3%増）となり、営業利益につきましては、コスト低減活動等による収益改善に努めた結果、1,900百万円（前年同期比28.2%増）となりました。

85.9%
連結セグメント別
売上高構成比
合計
19,755百万円

駐車場装置関連事業

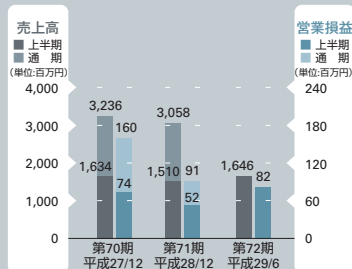
1,147百万円



一部新築案件の工期変更の影響等により、売上高は1,147百万円（前年同期比11.9%減）となりました。営業利益につきましては、資材価格等の上昇傾向が続くなか、継続的な選別受注や原価低減活動等の取り組みにより、72百万円（前年同期比23.2%増）となりました。

減速機関連事業

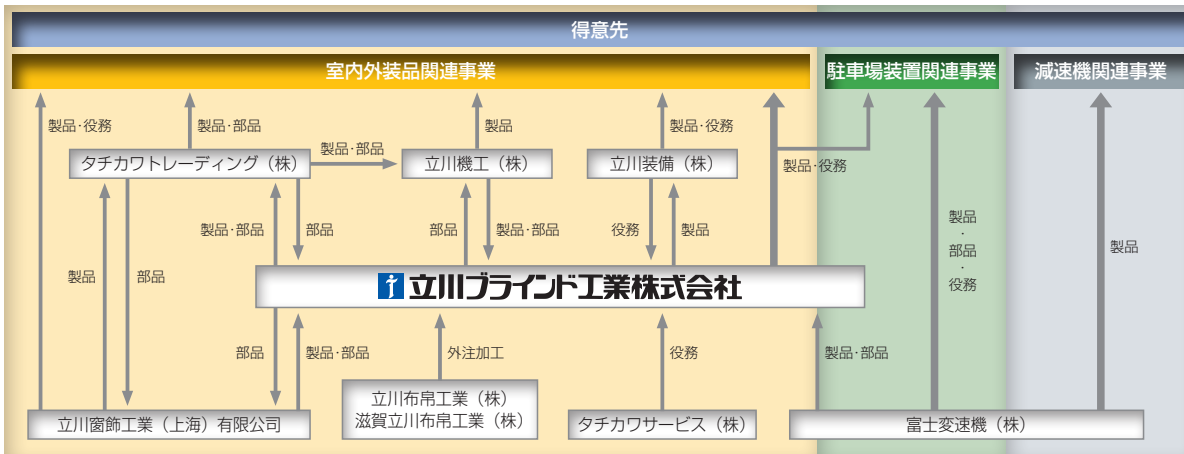
1,646百万円



設備投資動向が堅調に推移するなか、特殊減速機関連分野における受注が堅調に推移し、売上高は1,646百万円（前年同期比9.0%増）となりました。営業利益につきましては、継続的な原価低減活動等の取り組みおよび利益率の高い特殊製品が伸長したことにより、82百万円（前年同期比58.8%増）となりました。

当社グループ（連結会社）は、当社および子会社8社で構成され、室内外装関連製品、機械式立体駐車装置等の製造販売およびそれらの設計施工を主な内容とし、さらに各事業に関連するサービス等の事業活動を展開しております。

■ 事業の系統図



(注) 富士変速機(株)は名古屋証券取引所に上場しております。

■ 主なグループ会社

立川機工株式会社	立川装備株式会社	富士変速機株式会社
本社所在地：千葉県山武市	本社所在地：東京都渋谷区	本社所在地：岐阜県岐阜市
資本金：3億円	資本金：3億円	資本金：25億750万円
事業内容：ブラインド、間仕切等の部品 およびカーテンレールの製造販売	事業内容：ブラインド、間仕切等の据付 および関連製品の販売	事業内容：変速機、減速機、立体駐車装置 および間仕切の製造販売

■ 中長期的な会社の経営戦略

当社グループでは、厳しい経営環境下においても安定した収益を計上できる事業体制の構築に向け、以下の項目を重点戦略としております。

① 既存事業領域の深耕

当社グループの主要な収益源である室内外装関連事業において、お客様の視点に立った新製品開発や営業活動に注力し、高機能製品による需要創造やリフォーム市場への取り組みを強化することで、既存事業領域を深耕する。

② 成長分野への取り組み強化

中長期的な国内市場の縮小が見込まれるなか、外国人観光客の増加により活性化しているホテル需要に加え、海外市場など成長分野への取り組みを強化する。

③ 生産体制の強化

減速機関連事業、駐車場装置関連事業においては、生産リードタイムの短縮、工場稼働率の向上を図り、顧客対応力を強化する。

④ 経営資源の整備

将来に亘り安定的な収益基盤を構築するため、事業拠点や生産設備といった経営資源を計画的に整備していくとともに、人材育成に注力する。

ロールスクリーン『ラルクシールド』正面付けに「サイドカバー」を標準装着 **平成29年4月**

ロールスクリーン『ラルクシールド』の正面付けに、製品本体とシールドの端部を覆う「サイドカバー」を発売。

シールドと製品本体の一体感を高めることで、側面からの意匠性向上に加え、正面からもよりすっきりした意匠になりました。サイドカバーは、シールドと同色の4色（オフホワイト・ベージュ・ダークブラウン・ブラック）をラインナップ。

従来：サイドブラケットカバー

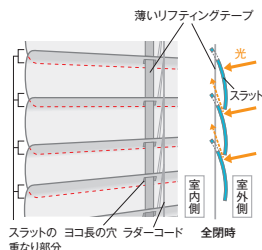
新仕様：「サイドカバー」



ヨコ型ブラインド『モノコムシェイディ』がより大きな窓に対応するサイズで製作可能に **平成29年1月**

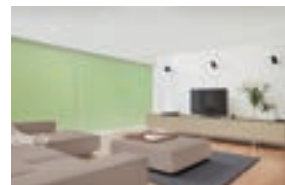
■製品高さを400cmまで拡大し、オフィスなどの大きな窓に対応
製作可能な高さを400cm（従来は280cm）まで拡大したことで、近年増加している天井高が高く、開放感のあるオフィスビルや商業施設などの窓に対し、より最適な提案が可能となりました。

■リフティングテープの採用で高い遮蔽性をもつ『モノコムシェイディ』
『モノコムシェイディ』は、スラット穴からの光漏れを低減し、遮蔽性を高めた高機能ブラインドとして2015年に発売しました。ブラインド全閉時にスラット同士が重なる位置に、スラットのリフティングテープの穴を設けることで、光漏れを低減。リフティングテープの採用で、全閉時のスラット角度を垂直に近づけることにより、高い遮蔽性を実現しています。

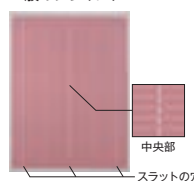


スラット（羽根）中央部の穴をなくし、光漏れを低減したヨコ型ブラインド『シルキーシェイディ』 **平成29年7月**

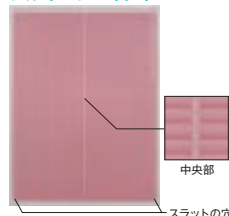
スラットの穴が中央部にはなく、両端部のみにあるため、全閉時の光漏れと直射光の侵入を低減。また、スラットの両端から3cmのところに穴があることで、穴を通るコードを境目にして、スラットが折れにくくなりました。



一般のブラインド



シルキーシェイディ



ヨコ型ブラインド「パーフェクトシルキー」「シルキーシェイディ」「シルキー」製品幅5mm単位製作対応開始 **平成29年7月**

ヨコ型ブラインド「パーフェクトシルキー」「シルキーシェイディ」「シルキー」におきまして、7月3日（月）より製品幅5mm単位での製作対応を開始しました。

より細かなサイズで製作対応できるので、きれいに窓に納めることができます。また、窓枠内への取付けの際に、窓枠と製品のすき間が少なく光漏れを軽減できます。

窓まわりにおすすめの製品を1冊にまとめたサンプル帳『窓まわりセクション』登場 **平成29年3月**

『窓まわりセクション』は、ロールスクリーン「ラルクシールド」、タテ型ブラインド「ラインドレープ」、プリーツスクリーン「ペルレ」、ヨコ型ブラインド「シルキー」の窓まわり4製品を1冊にまとめた新しいサンプル帳。さまざまなシーンや用途に合わせたトータルコーディネートをご提案しています。



株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式への投資の魅力を高めることを目的として、株主優待制度を実施しております。

当社の株式を300株以上ご所有いただきますと、年に1回所有株式数・保有期間に応じたクオカードを贈呈しております。

また、2014年6月末基準日より株主優待制度を拡充し、当社製品ご購入後に1台あたり2,000円分のクオカードを贈呈する優待制度を実施しております。

① オリジナルクオカードの贈呈（300株以上保有の株主様）

基準日：12月末日（年1回）

所有株式数・保有期間に応じて、オリジナルクオカードを以下の通り贈呈いたします。

所有株式数	保有期間	3年未満	3年以上
300株以上	500株未満	1,000円分	1,500円分
500株以上	1,000株未満	2,000円分	2,500円分
1,000株以上		3,000円分	4,000円分



【優待内容】クオカード（イメージ）

② 当社対象製品ご購入優待（100株以上保有の株主様）

基準日：6月末日・12月末日（年2回）

当社製品をご購入いただいた株主の皆様へ所有株式数・購入台数に応じて、以下の通り贈呈いたします。

所有株式数	優待内容	
100株以上	300株未満	当社製品購入1台まで、1台あたりクオカード2,000円分贈呈
300株以上	500株未満	当社製品購入2台まで、1台あたりクオカード2,000円分贈呈
500株以上	1,000株未満	当社製品購入3台まで、1台あたりクオカード2,000円分贈呈
1,000株以上		当社製品購入5台まで、1台あたりクオカード2,000円分贈呈

当社製品ご購入
1台あたり
クオカード
2,000円分
贈呈



【優待内容】クオカード（イメージ）

*対象株主の方へ所定の申し込みハガキを送付いたします。この申し込みハガキはお知り合いの方への譲渡が可能です。

ショールームのご案内

G I N Z A

銀座

タチカワショールーム



タチカワ銀座ショールームでは、お客様にご満足頂けるよう、豊富なインテリアの知識をもったスタッフが、新製品の紹介をはじめ新しいコーディネート提案など、窓辺に限らずインテリアのいろいろな可能性をお伝えしています。ご相談の予約は下記で承っておりますので、お気軽にお電話下さい。



〒104-0061 東京都中央区銀座8-8-15 青柳ビル
TEL (03) 3571-1373
定休日 月曜・祝日(土・日除く) 営業時間 10:00~18:00
JR・銀座線新橋駅より徒歩5分 銀座4丁目交差点より徒歩8分

ショールーム一覧

新宿ショールーム	東京都渋谷区代々木2-16-4 タチカワ新宿ビル1F TEL (03) 3375-7071 定休日 水曜・祝日(土日除く) 営業時間 10:00~18:00
仙台ショールーム	宮城県仙台市青葉区宮町5-1-12 TEL (022) 275-1311 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00~17:00
金沢ショールーム	石川県金沢市東力4-181 TEL (076) 291-1146 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00~18:00
名古屋ショールーム	愛知県名古屋市中区西区尾玉3-4-4 3F TEL (052) 532-5085 定休日 日曜・祝日 営業時間 9:00~17:30
大阪ショールーム	大阪府大阪市北区中津2-3-5 2F TEL (06) 6374-1813 定休日 日曜・祝日 営業時間 10:00~17:30
高松ショールーム	香川県高松市木太町六区2662-1 TEL (087) 837-2720 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00~17:00
広島ショールーム	広島県広島市南区東雲本町3-1-31 TEL (082) 284-1412 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00~17:30
上海ショールーム	上海市徐匯区宜山路290号 TEL +86-21-5396-6803
札幌ディスプレイスペース (展示品に制限があります)	北海道札幌市中央区南3西12-325-3 タチカワフラインド札幌支店3F 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00~17:00
信越ディスプレイスペース (展示品に制限があります)	新潟県新潟市東区大形本町1-2-23 TEL (025) 270-8111 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00~17:00
横浜ディスプレイスペース (展示品に制限があります)	神奈川県横浜市中区大通15 2F TEL (045) 662-0838 定休日 土曜・日曜・祝日 営業時間 10:00~17:30

総資産

総資産は48,977百万円で、前連結会計年度末と比較し188百万円の減少。

流動資産は31,755百万円で、前連結会計年度末と比較し9百万円の減少。主に、現金及び預金が増加した一方で、受取手形及び売掛金、繰延税金資産が減少したことによるものです。

固定資産は17,221百万円で、前連結会計年度末と比較し179百万円の減少。主に、無形固定資産が増加した一方で、有形固定資産が減価償却により減少したことによるものです。

負債

負債は12,254百万円で、前連結会計年度末と比較し1,384百万円の減少。主に、支払手形及び買掛金、未払金が減少したことによるものです。

純資産

純資産は36,722百万円で、前連結会計年度末と比較し1,196百万円の増加。主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により増加したことによるものです。なお、自己資本比率は66.3%と、前連結会計年度末と比較し、2.7ポイントの増加。

キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ390百万円増加し、10,908百万円。

【営業活動】

営業活動による資金は、1,096百万円の増加。税金等調整前四半期純利益2,083百万円に対し、法人税等の支払額661百万円、仕入債務の減少額322百万円、未払金の減少額452百万円等による減少があった一方で、減価償却費367百万円、売上債権の減少額359百万円等による増加があったことによるものです。

【投資活動】

451百万円の減少。主に、有形固定資産の取得による支出386百万円、無形固定資産の取得による支出71百万円等によるものです。

【財務活動】

249百万円の減少。主に、リース債務の返済による支出32百万円、配当金の支払い126百万円等によるものであります。

>> 連結貸借対照表

(単位：千円) (単位：百万円)

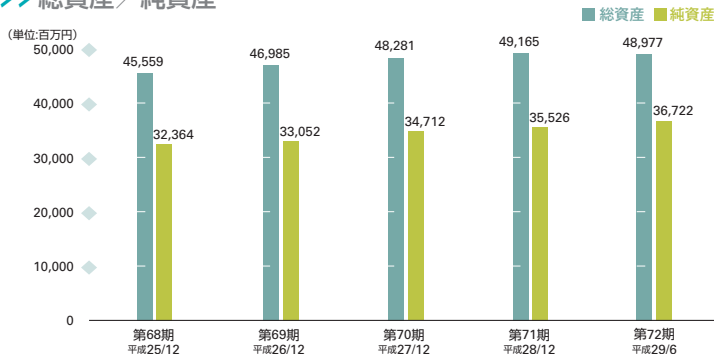
科目	当第2四半期 平成29年6月30日現在	前 期 平成28年12月31日現在	増減(△)
資産の部			
流動資産	31,755,147	31,764,169	△ 9
固定資産	17,221,954	17,401,150	△ 179
資産合計	48,977,101	49,165,319	△ 188
負債の部			
流動負債	8,612,600	9,963,800	△ 1,351
固定負債	3,641,753	3,675,130	△ 33
負債合計	12,254,353	13,638,931	△ 1,384
純資産の部			
株主資本	32,429,714	31,312,375	1,117
資本金	4,475,000	4,475,000	-
資本剰余金	4,395,016	4,395,016	-
利益剰余金	24,228,369	23,110,538	1,117
自己株式	△ 668,672	△ 668,179	△ 0
その他の包括利益累計額	21,828	△ 45,979	67
非支配株主持分	4,271,204	4,259,992	11
純資産合計	36,722,747	35,526,387	1,196
負債・純資産合計	48,977,101	49,165,319	△ 188

>> 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期 平成29年1月1日から 平成29年6月30日まで	前第2四半期 平成28年1月1日から 平成28年6月30日まで	前 期 平成28年1月1日から 平成28年12月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,096,070	828,470	2,461,225
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 451,776	△ 327,043	△ 362,021
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 249,608	△ 258,566	△ 415,971
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 3,961	△ 35,452	△ 14,050
現金及び現金同等物の増減額(△減少額)	390,723	207,408	1,669,181
現金及び現金同等物の期首残高	10,517,738	8,848,557	8,848,557
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	10,908,462	9,055,965	10,517,738

>> 総資産／純資産



>> 連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期 平成29年1月1日から 平成29年6月30日まで	前第2四半期 平成28年1月1日から 平成28年6月30日まで	前期 平成28年1月1日から 平成28年12月31日まで
売上高	19,755,370	19,719,727	39,349,514
(前年同期比)	(+ 0.2%)	(+ 3.6%)	(+ 0.2%)
売上原価	11,006,270	11,175,207	22,406,387
売上総利益	8,749,099	8,544,519	16,943,127
販売費及び一般管理費	6,692,981	6,950,523	14,075,313
営業利益	2,056,118	1,593,996	2,867,814
(前年同期比)	(+ 29.0%)	(+ 27.9%)	(+ 12.3%)
営業外収益	86,007	83,936	168,425
営業外費用	57,920	103,796	112,329
経常利益	2,084,205	1,574,136	2,923,909
特別利益	59	418	123,744
特別損失	471	1,371	27,787
税金等調整前四半期(当期)純利益	2,083,794	1,573,183	3,019,866
法人税、住民税及び事業税	577,766	460,704	1,105,443
法人税等調整額	149,175	156,299	100,795
四半期(当期)純利益	1,356,851	956,179	1,813,626
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益	46,610	36,130	71,891
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,310,241	920,049	1,741,735

>> セグメント情報

(単位：千円)

当第2四半期 平成29年1月1日から平成29年6月30日まで	室内外装品関連事業	駐車場装置関連事業	減速機関連事業
売上高	16,961,879	1,147,262	1,646,227
(前年同期比)	(+ 0.3%)	(△ 11.9%)	(+ 9.0%)
営業利益	1,900,293	72,853	82,972
(前年同期比)	(+ 28.2%)	(+ 23.2%)	(+ 58.8%)

■ 営業成績の概要

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調が続きましたが、海外経済の不確実性の高まりなどから、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、住宅ローン金利の低下や住宅取得支援策などにより、緩やかな持ち直しの動きが見られたものの、回復ペースは鈍化しており、厳しい環境が続きしました。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、顧客満足度の高い製品の開発および新製品の市場浸透を促進するとともに、コスト削減活動や生産性の向上を継続し、収益改善に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、主力製品である『パズルタワー』に重点を置いた営業を図り、コスト競争力の強化を推進し、収益改善に努め、減速機関連事業においては、保有技術を活かした製品開発に取り組み、特殊製品による成長分野への積極的な提案営業を行い、受注獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は19,755百万円(前年同期比0.2%増)、営業利益は2,056百万円(前年同期比29.0%増)、経常利益は2,084百万円(前年同期比32.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,310百万円(前年同期比42.4%増)となりました。

■ 会社の概要

社名	立川ブラインド工業株式会社
英文社名	TACHIKAWA CORPORATION
創業	昭和13年5月
設立	昭和22年10月
資本金	44億7,500万円
国土交通大臣許可	内装仕上工事業（般-27）第5037号 建具工事業（般-27）第5037号 機械器具設置工事業（般-27）第5037号 建築工事業（特-27）第5037号
上場取引所	東京証券取引所 市場第1部
証券コード	7989
本社所在地	東京都港区三田三丁目1番12号
電話	(03) 5484-6140
ホームページアドレス	http://www.blind.co.jp
従業員数	連結1,203名 単体790名 ※パート・契約社員等を除く

■ 営業品目

区分	品目の内容
ブラインド類	ベネシャン（横型）ブラインド、 パーチカル（縦型）ブラインド、 天窓用ブラインド、ロールスクリーン等
間仕切類	アコーディオン式間仕切、パネル式間仕切
その他	カーテンレール、製品取付、その他

■ 連結会社

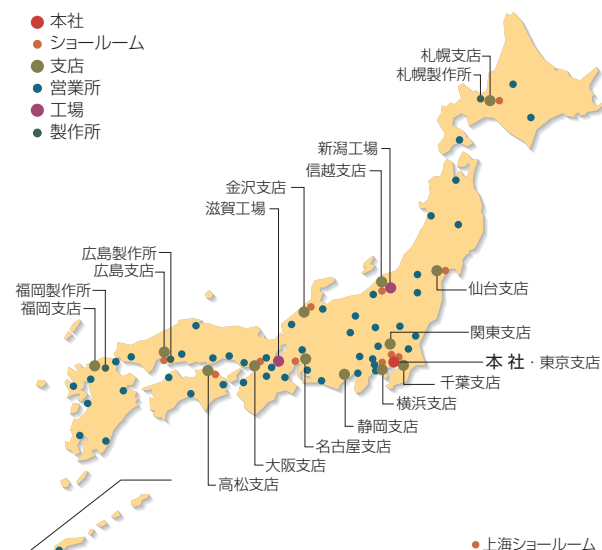
国内	
富士変速機株式会社 岐阜県岐阜市中洲町18	タチカワトレーディング株式会社 東京都港区三田3-1-12
立川機工株式会社 千葉県山武市松ヶ谷口2687	タチカワサービス株式会社 東京都港区三田3-1-12
立川装備株式会社 東京都渋谷区代々木2-16-4	
立川布帛工業株式会社 新潟県五泉市今泉709-1	
海外	
滋賀立川布帛工業株式会社 滋賀県愛知郡愛荘町東円堂923-1	立川窗飾工業（上海）有限公司 上海市嘉定区葉城路1630号

■ 取締役および監査役

代表取締役社長	立川光威
常務取締役	竹中伸也
取締役	八角和
取締役	藤田達之
取締役	安部田武久
取締役	金箱聡
取締役	蓮井隆之
取締役	坪井節子※1
常勤監査役	嘉村成人
監査役	高橋勇三※2
監査役	杉原麗※2

(注) ※1 取締役のうち坪井節子氏は社外取締役であります。
※2 監査役のうち高橋勇三および杉原麗の両氏は、社外監査役であります。

■ 当社ネットワーク



■ 株式の状況

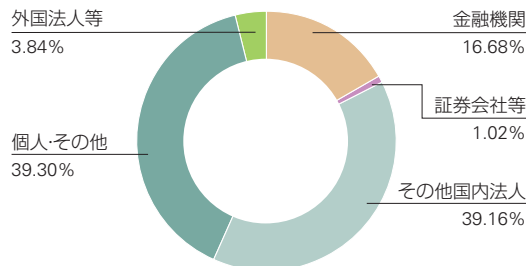
発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	20,763,600株
株主数	6,072名

大株主および持株数（上位10名）

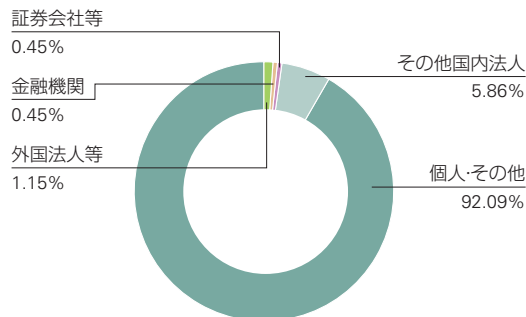
株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
有限会社立川恒産	4,117	21.20
タチカワプラインド取引先持株会	2,036	10.49
更生保護法人立川更生保護財団	1,331	6.85
株式会社三菱東京UFJ銀行	553	2.85
立川 光威	490	2.52
株式会社りそな銀行	460	2.37
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	424	2.19
タチカワ社員持株会	398	2.05
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	378	1.95
日本生命保険相互会社	373	1.92

(注) 1. 千株未満は切り捨てて表示しております。
 (注) 2. 当社は自己株式1,303千株を保有しておりますが、上記の表には記載しておりません。

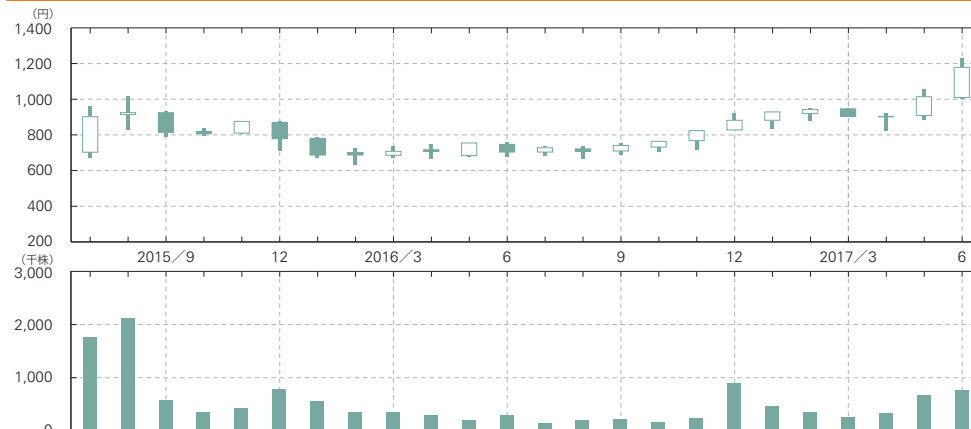
■ 所有者別持株比率



■ 所有者別株主比率



■ 株価および出来高の推移



当社ホームページでは決算短
信などのIR情報や、当社事業
や製品・サービスなどさまざま
な情報を発信しております。

<http://www.blind.co.jp>



株主優待のご案内



【優待内容】クオカード（イメージ）



① オリジナルクオカードの贈呈（300株以上保有の株主様）

基準日：12月末日（年1回）

所有株式数・保有期間に応じて、オリジナルクオカードを以下の通り贈呈いたします。

所有株式数	保有期間	
	3年未満	3年以上
300株以上 500株未満	1,000円分	1,500円分
500株以上 1,000株未満	2,000円分	2,500円分
1,000株以上	3,000円分	4,000円分

② 当社対象製品ご購入優待（100株以上保有の株主様）

基準日：6月末日・12月末日（年2回）

当社製品を購入いただいた株主の皆様へ所有株式数・購入台数に応じて、以下の通り贈呈いたします。

所有株式数	優待内容
100株以上 300株未満	当社製品購入1台まで、1台あたりクオカード 2,000円分贈呈
300株以上 500株未満	当社製品購入2台まで、1台あたりクオカード 2,000円分贈呈
500株以上 1,000株未満	当社製品購入3台まで、1台あたりクオカード 2,000円分贈呈
1,000株以上	当社製品購入5台まで、1台あたりクオカード 2,000円分贈呈

※対象株主の方へ所定の申し込みハガキを送付いたします。
この申し込みハガキはお知り合いの方への譲渡が可能です。

事業年度 1月1日～12月31日
定時株主総会 毎年3月
定時株主総会基準日 12月31日
剰余金配当基準日 12月31日（期末配当）
6月30日（中間配当）
公告方法 電子公告によります。
公告掲載URL
<http://www.blind.co.jp/koukoku/>
※事故その他のやむを得ない場合は、日本経済新聞に掲載いた
します。

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所 東京都府中市日鋼町1-1
特別口座管理機関 日本証券代行株式会社
単元株式数 100株

登録情報（ご住所、配当金振込先など）の変更、その他諸手続きについて

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。
特別口座の株主さまは、特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

配当金の受取りについて

配当金領収証をお近くのゆうちょ銀行または郵便局へお持ち下さい。
また今後、銀行振込をご希望の方は、お取引口座のある証券会社等または特別口座管
理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

未受領の配当金の受取りについて

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行（株）証券代行部までお問い合わせ下さい。

単元未満株式（100株未満の株式）の買取・買増請求について

一般口座の株主さまは、お取引口座のある証券会社にてお取扱いしております。
特別口座の株主さまは、特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

特別口座から一般口座への株式振替のお願い

特別口座管理機関 日本証券代行（株）へお問い合わせ下さい。

注）特別口座のままでは市場において株式を売却することはできませんので、必ず証
券会社に一般口座を開設（既に開設されている場合不要）し、特別口座から一般
口座へ振替申請を行って下さい。

>> 郵便物送付先・お問い合わせ先

株主名簿管理人	特別口座管理機関
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-232-711（フリーダイヤル） ホームページアドレス http://www.tr.mufj.jp/daikou/	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 日本証券代行株式会社 代理人部 ☎ 0120-707-843（フリーダイヤル） ホームページアドレス http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html